

平成23年 秋の叙勲

第17回 危険業務従事者叙勲

平成23年11月3日に発令された、平成23年秋の叙勲および第17回危険業務従事者叙勲の市内の受章者を紹介します。

旭日小綬章 (地方自治功勞)



さかもとみさお
坂本 節さん (80歳)
物部町仙頭

坂本さんは、昭和50年に物部村議会議員に当選以来、通算9期27年余り務められ、平成7年5月から2年間、議長の要職を務められました。

平成18年3月からは、香美市議会議員に就任され、平成22年9月に勇退されました。

在職中は、医療施設の充実や介護福祉施設の設置を提案し、物部村立大栃診療所と高齢者生活福祉センター『こづみ』が完成し、地域の医療福祉の向上に寄与されました。

また、昭和53年から23年余り、物部村農業委員会委員を務め、平成5年から12年間は同委員会会長を務めるなど、物部村内の農業の発展に尽力されました。

瑞宝双光章 (危険業務)



かわむらとしあき
川村 利明さん (71歳)
土佐山田町本村

川村さんは、昭和38年4月に高知県警に採用され、平成13年3月に窪川警察署署長を最後に退職されました。

警察学校を修了し、昭和39年から昭和48年まで山田警察署で勤務され、再度、昭和54年3月から昭和57年3月まで、山田署に警備課長として配属されました。

主に警備畑を回られ、皇室・大臣が来高した際には、警衛・警備を務められ、その重責を果たされました。

川村さんは、「警察は地域の方と密着していないとできない仕事。在職中は地域の方に親しまれる警察像を目指していた」と話されました。

旭日双光章 (地方自治功勞)



なかざわよしみ
中澤 愛水さん (70歳)
土佐山田町植

中澤さんは、昭和61年に土佐山田町議会議員に当選以来、連続5期19年余り務められ、平成8年9月から2年間は、議長の要職を務められました。

平成18年3月からは、香美市議会議員に就任されました。合併後初の選挙に当選した同年9月からは、4年間議長の要職を務められ、平成22年9月に勇退されました。

在職中は、主に『プラザ八王子』や『秦山公園』の建設にも携わったほか、市町村合併の必要性について、常に冷静な判断と地域住民の意思を積極的に議会に提言するなど、地方自治の育成と発展に貢献されました。

瑞宝単光章 (危険業務)



こうめい かずお
光明 和夫さん (68歳)
土佐山田町山田 (小島)

光明さんは、昭和45年1月に土佐山田町消防本部に消防士として採用され、平成13年3月に退職されるまで、31年余りにわたり、その職務を全うされました。

在職中は、防災活動はもとより救急業務、予防業務に尽力されました。特に救急業務においては、高度な知識と技術および豊富な経験を駆使し、職員の指導育成にも尽力され、消防職員の資質向上を図られました。

また、消防司令として、平成11年4月から平成12年3月まで香北分署長を、平成12年4月から平成13年3月までは消防署長を務められ、地域の消防行政に大きく貢献されました。



協働の森づくり 地域間交流事業開催!

香美市と環境先進企業との協働の森づくり事業のパートナーズ協定を締結している3団体(ルネサスエレクトロニクス株、セントラルグループ、高知工科大学・高知工科大学後援会)によって、地域間交流事業が開催されました。



丸太切り競争

▲ルネサスフォレストランド2011

10月15日、市基幹集落センターで、ルネサスフォレストランド2011が開催され、ルネサスエレクトロニクス株高知事業所の関係者や大宮小学校児童らほか65人が参加しました。

森林に関するクイズ大会や、丸太切り競争、木工クラフトの制作を楽しみました。



豆腐作り体験

▲セントラルグループ香美市物部の森2011

10月22日、セントラルグループ香美市物部の森2011が開催され、セントラルグループの関係者19人が参加しました。当日は、雨天となったため、物部森林ストックヤード(物部町中谷川)の工場見学のほか、農林漁業体験実習館(物部町別府)で豆腐作り体験をしました。

◀高知工科大学一物部川共生の森2011

11月3日、高知工科大学一物部川共生の森2011が開催され、高知工科大学の学生および教職員等34人が参加しました。当日は、小雨がぱらつく中、物部町の綱附森登山道において事前に物部森林組合が刈り払いをしたクマザサの除去作業に汗を流しました。



綱附森頂上

11月4日、香南市のいちふれあいセンターで、県薬剤師会香長土支部と中央東福祉保健所管内7市町村との間で、地震等による大規模災害が発生した場合の医療救護活動において、医薬品の提供と薬剤師の派遣協力を得る協定の締結式が行われました。

この協定は、東日本大震災において薬剤はあっても薬剤師がいなかったために、適切な処方ができなかったことなどを教訓に、中央東福祉保健所の支援と同支部の全面的な協力により実現されました。

今後、活動する避難所や必要となる医薬品の種類などの具体的なことを協議しながら、災害発生時の医療救護活動が少しでもスムーズに進むように調整が図られていくとのことです。



災害時応援協定